



鴿の声

雨の季節がやって来ました。木々の緑が雨とともに美しく映える季節でもあります。今年の五月は観測史上最も雨量の少ない月であったとの事です。五月晴れが続き、田植えが終わっても水が足りない、畑でも夏野菜を育てるのに農家の方々は大変な思いをしております。

7月は平年より雨量が多いと長期予報で言われておりますが、近年はその多さが半端ではなく、想定を超えた被害が各地で発生しております。これからは台風も大型化しているのです、風水害対策もしっかり取り組まなければならぬといふことを認識しているところです。

さて、本会も六月より新規事業として、企業内保育所「いくりん」と「こころん」との連携事業として子ども達の居場所づくりと学習支援を目的として、

近くの一軒家をお借りし「ゆーすぽーと」をスタートさせて頂きました。改めて各拠点を指折り数えて見ますと、現在12の拠点事業所を有する事になりました。これも今まで本会を長い間見守り、育てて頂いた沢山の方々のおかげと心より感謝申し上げます。

更に、今年度の事業として、福岡地区に建設予定の小規模多機能型サービス施設を加えますと、多くの拠点施設を展開することになり、同時に多くの課題や懸案事項と向き合う事になります。

法人本部としても各拠点との関係は今まで以上に課題の整理とコミュニケーションをしっかりと行って行かなければならないと思っております。

既存事業の充実と新規事業が軌道に乗るまでは、法人本部を含め、全職員が一丸となり緊張感をもって望まなければならないと思えます。

「経営の安定化」と「品質の

確保」という企業の生命線をしっかりと維持・向上していくためにも、関係行政機関・社会福祉協議会始め、自治会や地域の方々、地区社協や民生児童委員・主任児童委員の方々のご支援とお力添えを改めてお願い申し上げます。

本会としても、各拠点事業所の運営を一層充実させるとともに、連携を密にし、地域の方々やご利用者の気持ちに寄り添える事業所を目指して一層の努力をして参ります。併せて、事業の拡張をしている状況下では、法人としての「危機管理」はとても重要なこととなりますので、拠点や職員個々の取り組み、法人として取り組まなければならないことも、しっかりと対応して参りたいと考えておりますので、関係各位のご指導をよろしくお願い申し上げます。

(総合施設長 齊藤 操)

ときがね な ひととき

※法人内の事業所の日々の様子をお知らせします。

鴉嶺の家（高齢者・障害者）

若い利用者さんから高齢の利用者さんまで毎日一緒に散歩や買い物、ドライブしながら色々な景色や今有る物を見たり感じたりしています。

公園に行った時のお話です。スタッフ対Yさんのバドミントンが始まりました。続かないと思いきや、見ていると結構優しい打ち合いが続いていました。時折Yさんが強く返すとスタッフが「ア〜！」と声を上げています。Yさんちよっぴり誇らしげな表情。ブランコが大好きな

Aさんは、楽しそうに乗り続け、見守るスタッフが、勢いがついたAさんに、「もつと小さくこ

いで！」とハラハラ顔。Aさんは、更にニコニコと乗り続けます。公園の隅でHさんが無心でクローバーを摘んでいたたり。藤棚の下のベンチでは、「俺は目が見えないから…」といつも言っているSさんが横になったり、背伸びや元気に足踏み、両手を広げて、深呼吸されてます。皆さん楽しみ方があるのですね。

今度は梅狩りです。ご近所の庭の梅の実を取らせて頂ける事になり、手袋に袋や大きなざるを持ち、大勢で出勤です。はりきっているのはスタッフ…。棒で実を落とし皆で拾いました。高齢の利用者Tさんに指導して頂き、梅の芽取りをしました。Tさんは、子どもの頃梅の芽取りを手伝ったそうです。お母さんの思い出話もして下さりました。梅の思い出、素敵ですね。Tさんありがとうございます。

鴉嶺の家（児童）

行く春を惜しみながらも、心はずでに夏の到来を待ちわびております。新年度が始まり早いもので二ヶ月が経ちました。新しい環境にも、少しずつ慣れてきた頃ではないでしょうか。五月といえば「端午の節句」最近では、庭にこいのぼりを出している家庭も少なくなり、見つけると嬉しくてつい見入ってしまいます。「健康に成長して欲しい」「出世魚にあやかって将来を願う」こいのぼりには、色々な意味が込められているようです。鴉嶺では、折り紙で自分だけのオリジナルのぼりを作ったり、パネルシアターを見ながら歌をうたい、お祝いしました。パネルシアターに興味深々のようで、子ども達同士で職員の真似をし、見せ合う姿も見られました。子ども達の笑顔が何よりの喜びです。ね♪

次の行事は、7月の七夕と

なります。どんな願い事をするのか今から楽しみ中です。5月から新しいお友達が仲間入りです。笑顔の可愛いYちゃんです。公園でシャボン玉を追いかけると笑顔に毎日癒され、元気をもらっています。子ども達の言い間違えは面白いもので、「ときがね」のことを「ときまめ」と言ったり、「先生、これしまむら！」としまむらのカードを指さしていました。思わず笑ってしまいます。これから暑い日が多くなると思いますが、皆さん体調には充分気を付けて下さい。



ぽけっと

クーラーをつける事が多くなくなり、ジメジメムシムシ、ぽけっとの子どもたちが一番苦手な季節がやって来ます。それぞれのお子さんにあった体調管理を心がけ、元気に乗り切れるよう工夫していきたいと、思っています。「細まめに水分補給」大人の皆さんも気をつけていきましよう！

さて、4月・5月と、ぽけっとに小学生の仲間がふえました。中高校が多く見上げて話をする事が日常的になっているスタッフから、「視線を落とすの声かけが新鮮ですね。」「声も優しくなっちゃいます。」などの話がありました。また、他の子ども達はそれぞれ、いつものペースで遊んでいて、凄いなと感じていました。3人のお子さんが立て続けに入ってきて下さることは珍しく、このところようやく、ぽけっとに少

しずつ慣れ、好きな遊びや、過ごし方など、スタッフと見つけられているようです。

そんな矢先、以前からご利用されているKちゃん(6年生)がソファアールで横になっていたの、スタッフが横に座り、話かけたり遊んでいると…ニコニコしながら、長くご利用されている子ども達が1人増え、2人増え、3人掛けのソファアールに座りきれず、そのスタッフの膝の上に乗る子どももいました。笑いながらその様子を見ていましたが、もしかしたらぽけっとの子ども達は、新しいお子さん達を、いつもの様に遊びながら見守っていてくれたのかもしれないと感じました。兄弟のような関係性、凄いな！ぽけっとのお兄さんお姉さん頑張ってます(^-^)

サポートセンタースピリッツ

最近では、「セルフ」ということが増えました。数年前までは、ガソリンスタンドだけだったのが、現在では、スーパーやホームセンターもセルフレジを導入するところが増えました。

人件費削減、人手不足解消などさまざまなメリットが考えられ、時代の流れなので仕方ないですが、新しいものに抵抗を感じる人はたくさんいらっしゃると思います。

今までは、人との対応だから一人で買物ができていた障がい者の方もセルフレジになっただけで買物ができなくなってしまう、ということも考えられます。もちろん、セルフレジだけというお店はないのですが、「変化」はしています。「変化」には必ずメリットとデメリットがあり、そこには損する人と得する人がいるというのも事実です。これからは、人口知能ロボッ

トが活躍する時代になっていくと言われていきます。今まで人間がしていた仕事ロボットに奪われ、職が失われる人が増えると思います。数十年後はひよつとすると今よりもっと貧富の差が激しい時代になっているかもしれないし、人間関係も希薄になり、変な犯罪が増えるかもしれないかもしれません。

そうならないためにも、人と交流することは大切です。人と交流することで人は育ち、相手を思いやる気持ちが芽生えます。たとえロボットと共存する社会になっても人との交流を大切にしたいものです。



5月は真夏並みまで気温が上がるなど、気温の変化が激しく、体調管理にも更に気を配らなくてはなりません。ゴールデンウィークは楽しみがある一方で、休み明けはリズムに上手く乗れない方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

さて、るととは5年目を迎えました。相談支援事業所として、サービスを利用する方のための計画書を作成してきました。「計画書」は福祉サービス利用のため市町村への申請に必要な書類のひとつです。申請手続きが一通終わりますと、サービスを受けるための「受給者証」が交付されます。「受給者証」には名前、住所、支援区分など色々記載があります。記載内容のひとつ、「支給量」という言葉を私達はよく使いますが、「支給量ってなんですか？」という質問を受けることがあります。

ます。支給量とは福祉サービスを利用できる日数や時間数のことですが、その説明をしつかりしていないことに気付かされず。皆さんがわからないことや疑問に思っていることはないか、言葉の説明は足りているかなど、あらためて確認していきたいと思います。



草木が青々と生い茂る新緑の季節、皆様いかがお過ごしでしょうか？

桜が咲いたらあつという間に田植えの時期に、方エルやクモなどなど、色んな生き物がお庭で生き生きとしています。

ハンドワーク生活介護では、習慣になりつつある健康と体力作りのためのお散歩と、お花見も兼ねて八鶴湖や昭和の森等々にお出かけをしました。桜のシーズンを過ぎても咲く八重桜をみながらお散歩したり、朝夕の送迎車の中からもお花見ができましたりと、あちこちで春を感じた四月のはじめでした。

四月になって新しい出会いが三つ、ハンドワーク生活介護では三人の新しい利用者さんをお迎えしました。皆さんまだ高等学校を卒業して間もない方々で、今までにはなかった新しい環境や関係に戸惑いながら

も、少しずつ慣れ始めています。そんな中でも成長がよく見られるAさん。いつも活発で明るく、お外に出かけると一目散にブランコやすべり台に向かうのですが、ハイキングコースも気になったよう、職員と一緒に散歩へ。初めてのお散歩コースにおっかなびつくりコースの終わり近くにある長い下り階段が怖いのか、しょんぼりとした表情で座り込むことも：それでも皆と一緒に散歩したいようで、職員や親しくなった利用者さんの名前を呼びながら、頑張つてハイキングコースを歩き切りました。最後は皆に拍手でお出迎えされ、ちよつと照れたような、嬉しそうな表情を見ることが出来ました。その後は、母の日のありがとうカードの詰め込み作業にチャレンジ！5月の母の日まで頑張つて取り組みます。

ハンドワーク（就労継続支援B型）

草木が青々と生い茂る季節、皆さんいかがお過ごしでしょうか？

ハンドワークでは、庭先のビワや梅が実をつけ始め、食べ頃が待ち遠しい時期となりました。

そんな中、一足先に裏庭のさくらんぼが食べ頃になり、さつそく収穫をしました。その日のおやつに出すと、「甘い！」「酸っぱい！」など、それぞれ思い思いの感想が聞えていました。中でも、ご家庭で果物をほとんど口にしないと話していたAさんは職員や他の方々にさくらんぼを勧められ、「本当に甘い？」「大丈夫？」と何度も確認をしてから一口チャレンジ！感想は「う〜ん？」と、ご本人もちよつと分らないというような様子でしたが、嫌がることも残すこともなく完食でした。折角だから、もっと沢山収穫しようと思日取りに行くと、一番美味しそ

うに色づいていたさくらんぼが一つ残らず鳥に食べられ、肩を落とした2日間でした。次は「甘い」「美味しい」の声が聞こえるように頑張ろうと思います。

毎年取り組んでいる母の日の内職が期限内に無事終了しました。自分達だけでどれだけできるか、手助けはどれだけ必要で、特技や特性を生かした、皆さんに合った作業内容は何か、その都度相談をしながら、進行予定と毎日の工程や成果を前に、にらめっこする日々が終わり、ほつと一息です。もしかしたら、知り合いのお母さんに届いているかも？なんてお話をしながら、少しでも感謝の気持ちを伝える手助けが出来たらと頑張りました。長いようであつという間だった2週間。色々な方に手伝っていただきながらも、年を重ねるごとに少しずつ、確実に完成速度が上がりがつつあり、成長の一端を見ることが出来た、嬉しいひと時でした。

ありさ（就労継続支援B型）

新年度になって早一か月。新しいメンバーも増え、さらに賑やかになったありさです。

新しいメンバーが入ってきていつも思う事ですが、ありさに馴染めるだろうか？みんな仲良くなれるだろうか？と心配するのですが、ありがたい事に先輩メンバーが「〇〇ちゃん可愛い♡」と言ったり、延々と自分の事をしゃべったりと積極的な働きかけがあり、今までは割とすぐに馴染むことが出来ていたみたいです。

今年度入った新メンバーは2名。2人ともとても恥ずかしがり屋です。それでも、周りのメンバーたちの明るくて、どんな人とも楽しく仲良くなりたい気質全開、Wellcome to ARISA!という感じの中にあることで、少しずつ打ち解けてきているのが垣間見えてきました。

特に女子は、「かわいい」「ありがと〜」とよくお互いを褒め合っています。また、時にお姉さんになって色々世話を焼いてあげたり、時に甘えん坊になって頭をなでてもらっていたりしています。互いの関係を素敵に繋いでいるんだな、と感じました。



五根の家（グループホーム）

4月から5月にかけて寒暖の差が激しく、最近はや夏のような暑さが続き、お年寄りの皆さんも体調管理により一層の気配りが必要になってきます。

今回は哀しいご報告からさせていただきます。五根の家の開所当初よりご入居されておられたMさんが5月27日にご逝去されました。Mさんとは約6年間のお付き合いでした。いつも優しい笑顔でお話しされ、セブンイレブンのコロッケが大好きな方でした。入居して間もない頃に五根の家の近くのセブンイレブンのコロッケをご本人と一緒に買いに行きましたら、「このコロッケは味が違う！」と言われ、後日、ご本人がいつも買い物されていた自宅近くのセブンイレブんで再度コロッケを買って食べると、「そうそう、このコロッケだよ。やっぱりセブンイレブンのコロッケは美味しいね！」

と笑顔でお話しされていた姿を今でもよく覚えています。

同じコロッケでも、行きつけで馴染の店員さんと会話しながら買うコロッケは格別で、Mさんには改めて地域での人との繋がりや馴染の暮らしの大切さを教わりました。

五根の家の中では、事務所でスタッフとの会話が好きで、両足大腿部の骨折を左右2度もされましたが、事務所に行く為に頑張つて歩こうとされ、いずれも車椅子生活から一人で歩けるようになり、何度も驚かされました。

毎週、市外より面会に来られる最愛の息子さんにお会いするのを待ち遠しくされている姿がとても印象的でした。

今回の出来事はとても残念で哀しいですが、Mさんのお思いを胸にしまい、目の前のお年寄りの方々との関わりを大切にしていきたいと思います。スタッフ一同、ご冥福をお祈り申し上げます。

五根の家（小規模多機能ホーム）

今回はSさんの事についてお話させていただきます。Sさんは法人として7年以上のお付き合いがありますが、元気に歩いていた頃は体を動かす事が好きで、土木作業や農作業が得意でとても働き者でした。事業所の包丁研ぎをしてくれたり、野菜作りに汗を流している姿が印象的でした。小さい子どもも好きで、事業所に通ってくる子ども達の世話焼きをして楽しそうに交流されていました。社交的で、自宅周辺には知人がたくさんいて、道を歩くたびに色々な方と会話されていました。

月日が流れると共に、徐々に体力の衰えが見られ、現在は車椅子生活となり、生活全般に介助が必要な状態となっております。口数も減って会話する事もあまりありませんが、スタッフの声掛けに時々、「お〜」と返事をされたり、時には、「あり

がとう」と言ってお下さいます。時々発する返事にスタッフも、「Sさんが喋ったよ！今日も元気だね」と嬉しくなります。

Sさんは今年の4月下旬頃、発赤や小さな水泡が出来るようになり、次々と全身に広がっていききました。いくつかの病院を受診されても原因がはっきりしないまま症状が悪化し、ご家族やスタッフもとても心配していました。先日、天疱瘡という全国でも5千人位しかいない珍しい病気があった事が分かり、現在は入院して治療を受けています。

Sさんが元気になって、一日も早く退院出来る事を願っています。



「ころん」

今年ももう6月、29年度もあつと言う間に時が過ぎてしまひそうです。生活困窮者自立相談支援事業は国が作ったシステムに従って支援をします。求められた内容で「プラン」をたて相談者ご本人の同意を得てお手伝いをします。ころんはご本人と一緒にお仕事探しをすることがよくあります。正社員、パート社員、一般就労の障害者枠、障害者福祉サービスの作業所まで、お仕事と言っても多種多様です。一般的な段取り（ハローワークで相談する等）で仕事に就ける方は少ないので、ご本人の希望や経歴などを回数を重ねて聞き取りし、今ある求人を探したり話の出来る企業さんに相談をし、この仕事ならどうでしょうと提示します。5月時点で仕事探しをするというプランを立てた方は80%近く仕事に就くことが出来ました。「今は電

車やバスには乗れません。」「まだ日本語がよくわからないんです。」等いろいろな苦手があるけれど、企業との橋渡しを誰かがすることでおの方を雇いたいという企業が見つかるのです。就職したら次は職場定着！仕事を続けられないと生活は立て直せません。今年度のころんの大きな課題です。フードドライブは6月末までです。食料品のご寄付をお願いします！



いくりん

早いもので、子ども達はいくりに入園して1ヶ月が過ぎました！

始めは泣き顔いっぱいだった子ども達も、新しい環境に少しずつ慣れて笑った顔や怒った顔、泣いた顔、いろんな表情を見せてくれるようになりました。そしてそして…ピカピカの黄色い、いくりん号でのお散歩もデビューしました！子ども達は道端の草花を見たり散歩中に会った人に声をかけられると笑顔でこたえたり手を振ったりしてお散歩を楽しんでいます！Hくんはママの朝の見送りがいつもの日課となり保育士の抱っこでママの車を見ています。車の中からママが手を振ってくると大喜びで足をバタバタさせています。また先日、初めてクレヨンを使ってお絵かきをしました。グルグルととっても楽しそうに描く子、いろいろ

な色に興味を持ち彩りよく描く子、描いたもの「みてみて！」などとお友だちと嬉しそうに見せ合いっこをしている子などが近づき雨の日も増えてきますが、室内あそびを工夫したり天気の良い日は散歩や公園に出掛けたりと楽しく過ごしていきたいと思えます。もちろんいくりん号でね♪



営業…午前10時～午後8時

場所…東金ショッピングセン

ター「サンピア」内1階
(ステージコート脇)

内容…福祉、介護、子育て、
ボランティア・市民活動
に関する情報提供、相談

★福祉・介護・子育て等に
関する情報の掲示・配布
をご希望の方は、当法人
までご連絡ください。
(0475-533630)



福祉医療機構助成事業

前回のちばしゃ通信でもお伝
えしましたとおり、当法人は、
平成29年度独立行政法人福祉医
療機構助成金を受けることにな
りました。助成額は、700万
円。

事業名は「子どもの自立・自
律と共生事業」。

具体的な取り組みとしては、
専任のコーディネーターを3名
配置し、次の事業を実施します。
①常設の居場所・学習の場
づくり

《開設場所》
東金市東新宿12-25

《拠点名称》

学び舎 ゆーすぽーと

《営業日》

月曜日・水曜日・

金曜日・土曜日

《機能》

相談スペース、情報提

供スペース、学習ス
ペース、休憩スペース

- ② 個別的な学習支援の実施
- ③ 社会・生活等体験イベン
ト（体験学習）の実施
- ④ 子どもの貧困と学習環境
の実態調査
- ⑤ 相談支援とコーディネー
ト
- ⑥ ミニシンポジウム・報告
会の開催
- ⑦ 報告書の作成
- ⑧ 運営委員会の設



編集後記

先月、まちの保育所いくりんが始まり、つぎはWAMの
事業として、「ゆーすぽーと」が始まります。微力ながら、
地域の皆さんのお役に立てたらと思いますので、今後もど
うぞよろしくお願い致します。(W)

最近、私の周りでは、新たなことが次々と始まったり、
できるようになったりと良いことがある一方で、長年積
み上げたものを見直し、整理しなければならない状況が
起こっています。見つめ直す時期なのかも… (Jerry)



ちばしゃ通信
(Vol.32)

発行日：2017年6月15日
発行元：ちば地域生活支援舎
編集責任者：宮下・太齋
連絡先：0475-53-3630